

大阪アニメーションカレッジ専門学校 専門課程

2024 年度 学校関係者評価報告書

(基準日2025年3月31日)

はじめに

本校では、学校教育法及び学校教育法施行規則に則り、学校評価（自己評価・学校関係者評価）実施に向けた体制作りを行ってまいりました。そして現在、文部科学省策定の『専修学校における学校評価ガイドライン』をもとに、学内における PDCA サイクルの確立を目指し自己評価を行っています。より充実した、教育環境と在校生・卒業生のサポート体制確立に向けさらなる努力をしていく所存でございます。本校関係各位の皆様におかれましては、さらなるご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

学校法人大阪創都学園
大阪アニメーションカレッジ専門学校
学校長 田中 道信

<学校関係者評価委員>

- ☐ 地域関係者 石井 博章 サニーストーンホテル 代表取締役社長
- ☐ 教育関係者 RITA 学園高等学校 東龍太郎氏
- ☐ 業界関係会社 三原淑治 エム・アイ・プランニング株式会社 代表取締役
- ☐ 卒業生 北原優希 アニメ声優コース 5 期生(2008 年度生)

<事務局>

- ☐ 学校関係者 田中道信 大阪アニメーションカレッジ専門学校 学校長
- 西尾拓也 大阪アニメーションカレッジ専門学校 副校長
- 城将敏 大阪アニメーションカレッジ専門学校 事務長

<実施概要>

- ・評価項目についての前年度対比の解説と今後の対策
- ・評価者の方々からのご意見及び質疑応答

大阪アニメーションカレッジ専門学校 専門課程 2024 年度自己評価表

I. 令和6年度自己評価報告について

- ・学校長挨拶
- ・自己評価報告書において特筆すべき項目について個別説明(下記参照)

■学修成果

●4-30 ・退学率の低減が図られているか【自己評価:3】

・担任制があり学生が個別に相談しやすくしている。また、保護者とのコミュニケーションも取りながら進めることもできる。実技担当講師等に相談する場合も、学校内での情報共有ができる体制を取っている。令和 5 年度においては、作画系の学生に病氣療養等の事情により退学する事例が多く見られ、進級率の低下の要因となった。

■財務

公開情報「令和6年度 財務関係報告書」をもとに事務長より報告、説明。

II 授業運営及び学事等の報告

■令和6年度の在校生出席率、進級卒業率、進路決定率、入学者数など具体的人数の報告。

■実践的プログラム／地域貢献活動な／産学協同プロジェクト(企業連携)など

- ・地域清掃活動ボランティア参加
- ・南海電鉄 鉄道安全啓発アニメ 制作
南海電鉄グループの阪堺電車プロモーションアニメ「さちとおじいちゃん電車」を制作
- ・大阪府鉄道警察隊と共同で、防犯アニメーションを制作
- ・吹田市環境部(アジェンダ 21)「ムーンライトコンサート」告知ポスター制作及び司会
- ・大阪デジタルコンテンツビジネス創出協議会主催(ODCC)
「あべの天王寺サマーキャンパス」にてオンラインイラストワークショップ実施(卒業生派遣)
- ・大阪市 こども青少年局「こども夢・創造プロジェクト」声優ワークショップ会場提供
- ・天満音楽祭 MC ボランティア
- ・高槻ジャズストリートでの「会場 MC ボランティア、似顔絵出店」
- ・その他、連携高校(つくは開成高校、金光藤蔭高等学校)への講師派遣とカリキュラム提供

III. ご質問、ご意見

■ご質問:「作画系コースの就職者に対しての指導について」

回答: デザイン系やゲーム系希望者に関しては、従来通りポートフォリオ作成において企業様から直接指導を行って頂ける機会を増やすなど学内だけではなく、外部企業様にもご協力を頂くなど指導を強化している。また、卒業後にフリーランスを目指す者に関しては、創作活動やアーティスト活動を支援して頂ける派遣会社などへの就職支援を積極的に行っている。

■ご質問:「日本国内の人口減少に伴う 18 歳人口の減少に関して、学生募集の対策はどのように考えているか。」

回答: 留学生を積極的に受け入れるため、留学生募集担当者を配置し、留学生会場ガイダンスへの参画、日本語学校への募集活動を実施、web サイトの外国語ページ(英語、韓国語、簡体語、繁体語)を設置現地からの直接問い合わせ者に対しての入学者誘致を行っている。

■ご質問: 入学者の基礎学力低下に伴う入学後の対策はどのように行っているか。

回答: 別途補講を設け少人数の個別指導の機会を設けている。